

調査活動

窓口業務改善

6月13日(木)、「デジタル化・DX推進展」のオンライン展示会内での講演「アナログ的な視点からDXを考える ～北見市役所の**窓口業務改善**の取組から～」を聴講しました。

- 市民の手間や負担を減らす
 - 職員の手間や負担を増やさない
- という2つの目的を達成するために、「アナログ的な視点で、**仕事の流れや手順を徹底的に見直す**」「デジタルは手段。手段を目的化しないこと」等の指摘がありました。



P. 1で、杉並区における「(仮称)おくやみコーナー」開設の話題を取り上げましたが、北見市の取組でも、「**受付システムを使って職員と一緒に手続きを進めるという発想の転換**」に、言及されていました。杉並区でも、デジタル技術を活用した更なる窓口サービスの利便性向上について、令和8年度からの改善に向けて検討を進める(6月20日のDX・議会改革に関する特別委員会資料より抜粋)とのことですので、その取組を議会の立場からチェックしていきたいと思えます。



昨年5月の新任期開始後、「自民党・無所属杉並区議団(私を含む10名の議員で構成)」に所属して活動してまいりましたが、改選から約1年、区政運営への対応や政策の方向性等について、会派の判断と私自身の考えに一定の距離が生じるようになったため、**4月17日(水)付けで、一人会派として再出発**いたしました。

新会派名は、「**区政杉並クラブ**」です。

一人会派として活動する場合、議決判断にあたって会派内での議論ができない等のデメリットはありますが、一方で、常に自身の判断のみに従って区政課題への対応や議決判断ができるというメリットもあります。どのような立場(会派)で活動すべきかは様々なご意見があろうかと存じますが、今後とも真摯に区政に取り組んでまいりたいと思っておりますので、ご理解いただければ幸いです。

次回の定例区議会(令和6年第3回定例会)は、9月10日(火)開会予定です。

区政や岩田いくまに対する質問・ご意見・ご要望をおきかせください。

E-Mail: ikuma@gakushikai.jp もしくは FAX: 03-3247-8660

学校DX

6月26日(水)、セミナー「**次世代の校務^(*)DX**について(講師:文部科学省初等中等教育局学校デジタル化プロジェクトチーム専門官)」を受講しました。

自治体の実践事例も紹介しながら、

- 「次世代の校務DX」実現に向けた3つの観点(①データ連携②教職員等の働き方改革③レジリエンス(災害等発生時の業務継続性確保))
- 教育DXで目指す姿(個別最適・協働的な学びの充実等)
- 教育情報セキュリティ対策等について説明がありました。

(*8)校務…学校がその目的である教育事業を遂行するため必要とされる、すべての仕事。



コロナ禍以降、杉並区の区立学校においても、

- 児童生徒1人1台専用タブレット端末の配布
 - 学習支援ソフトやデジタル教材の活用等が進められております。
- 教職員等の負担軽減を含め、**より良い学びの環境を構築する**ために何が 필요한のか、私自身も知見を深めていきたいと思えます。



杉並区議会議員(無所属)

岩田いくま 区政報告

第83号(令和6年夏号)

発行: 岩田いくま 〒168-0082 杉並区久我山5-24-30-103
TEL/FAX; 03-3247-8660 E-Mail; ikuma@gakushikai.jp
HP; http://ikuma-iwata.net (←毎日更新しています!)



岩田いくま(生真)略歴: 昭和46年(1971年)生。都立西高、東京大学卒。外資系コンサルティング会社勤務を経て、平成15年5月より杉並区議会議員。令和5年5月より6期目。
趣味: バレーボール(大学時代は母校で部活動のコーチを行う)、読書。
家族: 妻、長男(21歳)、長女(18歳)、次男(16歳)。

P.1 「(仮称)おくやみコーナー」について

P.3 地域での活動について

P.2 議会での活動について

P.4 調査活動について

所属委員会について

所属会派について

「(仮称)おくやみコーナー」が開設されます

～ 死亡時の手続きに関する総合的な案内窓口 ～

身近な人が亡くなられた際、遺族は大変な悲しみの中でも、死亡に伴う手続きを進めなければならず、大きな負担となっています。

こうした負担の軽減を図るため、杉並区では『お悔やみハンドブック^(*)』を作成しておりますが、より安心して区役所での手続きができるよう、死亡時の手続きに関する総合的な案内窓口として「(仮称)おくやみコーナー」を開設することとなりました。

(*1)『お悔やみハンドブック』は、右記QRコードから見ることができます。



開設日

令和6年9月2日(月)

開設場所

区役所西棟2階 専用ブース

開設時間

平日の9時～12時 及び 13時～16時 (1日4組、1組当たり1時間程度を想定)

対象者

(原則として)亡くなられた区民のご遺族の方

サービス内容

- (1)職員が個々の事情を伺いながら、手続き案内システム^(*)を活用し、必要な手続きを抽出
 - (2)必要な手続きが効率的にできるよう、窓口の順番等の案内シートを作成
 - (3)基本情報(住所、氏名)を印字した各種申請書等の交付
- (*2)手続き案内システム…令和6年8月導入予定。区ホームページのリンクから手続き案内システムに入り、自宅等で必要な手続きを抽出することも可能にする予定。

利用方法

原則として、電話による事前予約



6月10日(月)の区民生活委員会では、1日4組とした積算根拠を確認したうえで、

- 状況により、人員体制等の拡充を図ること
 - 自宅等で手続き案内システムを利用した場合でも、案内シートや基本情報を印字した各種申請書等を印刷できるようにすること
- を、私から質疑を通じて求めました。

区民サービス向上に向けた新たな取組ですので、より良い仕組みとなるよう応援しながら、見守ってまいります。

議会での活動

6月19日(水)、「文化芸術・スポーツ・まちのにぎわいに関する特別委員会」が開かれ、下記2件が報告されました。

報告テーマ	所管課
スギナミ・ウェブ・ミュージアム ^(*3) の取組状況について	文化・交流課
杉並区魅力発信事業 ^(*4) の実施状況について	産業振興センター

(*3)スギナミ・ウェブ・ミュージアム…令和2年10月にインターネット上に開設した仮想美術館。右記QRコードから見ることができます。



(*4)杉並区魅力発信事業…区内全域における一層の来街者誘致を図るため、令和4年度から取り組んでいる事業。令和5年度は、京王井の頭線及び西武新宿線沿線の魅力を発信するパンフレットの作成や各種媒体での情報発信を実施。

委員会では、**今年度(令和6年度)が新たな杉並区実行計画^(*5)の初年度**であることを踏まえて、下記の質疑等を行いました。

(*5)杉並区実行計画…区の中期計画。現在の計画期間は、令和6年度～令和8年度。

【岩田いくまの質疑】

実行計画では、令和8年度(計画最終年度)まで「スギナミ・ウェブ・ミュージアム」の運営・発信が計画されている。計画最終年度における「スギナミ・ウェブ・ミュージアム」のイメージは。

【区の答弁】

誰もが気軽に文化芸術活動に親しめる環境を整えることが目標。「スギナミ・ウェブ・ミュージアム」を、区民の方々が、

①気軽に文化芸術活動に触れることができる機会

②作品を発表・展示できる場

に育てていきたい。

【岩田いくまの質疑】

実行計画では、令和8年度(計画最終年度)まで「魅力発信事業の実施」が計画されている。計画最終年度まで魅力発信事業を行った結果、どのような杉並区の姿をイメージしているのか。

【区の答弁】

令和6年度は、これまでの取組を踏まえて、**集客・回遊**というテーマで実際に来街につながる企画を現在募集している。令和8年度に向けては、それが定着というような形で進んでいけるよう取り組んでいきたい。

魅力発信事業については、上記の他、「杉並区地域公共交通計画^(*6)における各施策との連携」についても質疑を行いました。

区が行う事業は、計画に基づいて実施されていきます。目先の取組だけに目を奪われることなく、**中長期的な成果**を意識しながら、また、縦割りに陥ることなく、**他の施策との連動**も意識しながら、事業の是非を議会の立場からチェックしていきたいと思えます。

(*6)杉並区地域公共交通計画…「地域にとって望ましい地域旅客運送サービス」の姿を明らかにする「地域交通のマスタープラン」。対象とする移動手段は、既存の公共交通サービス+地域の多様な輸送資源(自家用有償旅客運送、スクールバス、福祉輸送等)+新技術(パーソナルモビリティ、シェアモビリティ、AIによる配車、自動運転など)。

【所属委員会について】

5月22日(水)、令和6年杉並区議会第3回臨時会が開かれ、所属委員会が変更となりました。

今後1年間、

● 区民生活委員会(P. 1参照)

● 文化芸術・スポーツ・まちのにぎわいに関する特別委員会(当ページ上部参照)

2に所属して活動してまいります。

地域での活動

小学校ゲストティーチャー

5月15日(水)及び20日(月)、我が子がかつて在籍した区立小学校にて、今年も**運動会表現種目のゲストティーチャーとして、授業に参加**しました。

今年も対象は5年生。運動会当日も“掛け声”で参加しましたが、皆「楽しく、大きく、一生懸命」に、そして、「心をひとつに」して踊ってくれました。



毎年授業に参加させていただくことで、その時々の子供達の様子を現場で実感することが出来ます。

また、先生方の頑張りも、事前の打ち合わせや授業での子供達への接し方、そして運動会当日や事後の対応と、様々な場面を通じて、本当に実感します。

今後とも、様々な形で学校に関わる中で、**区立学校のより良いあり方**を考えていきたいと思えます。

防災活動

所属する町会の防災部長/防災会会長として、

● 5月21日(火)の杉並防火防災協会総会(事務局:消防署)

● 5月29日(水)の防災市民組織連絡協議会総会(事務局:杉並区)

に出席しました。

また、5月18日(土)

には、近隣防災会の防災訓練に、お手伝いとして参加しました。



防火防災協会総会では、消防署から「令和6年能登半島地震発生に伴う緊急消防援助隊の活動状況等について」の防災講話もあり、

● ドローン活用の様子

● 警察・自衛隊との連携の重要性等をお聞きしました。

いざという時に、**地域での防災活動に少しでも役に立つよう**、防災関連活動にも引き続き取り組んでいきたいと思えます。

放課後子ども教室

平成29年度から始めた「小学校放課後子ども教室」も、令和6年度で8年目となりました。

今年度から当該小学校で「放課後等居場所事業^(*7)」が始まったことにより、新たな形で試行錯誤しながらの取組ですが、この間も、

- バレーボール教室(私が講師)
- バルーンアート教室(私が講師)
- モルック教室(私が講師)
- 将棋教室(近隣の年配者が講師)
- 折紙教室(近隣の年配者が講師)
- キッズヨガ教室(元PTAが講師)

等を実施しました。

(*7)放課後等居場所事業…放課後等に、利用していない小学校内のスペース(校庭、特別教室等)を活用し、小学生に居場所と体験の場を提供する事業。



近年は、「**体験格差**」という言葉も流布しています。子供達が様々な体験をできるように引き続き取り組み、より良い教育・子育て環境の構築・仕組みづくりに活かしていきたいと思えます。

応急手当普及員

6月27日(木)、池袋消防署で開催された「応急手当普及員再講習」を受講しました。

- 心肺蘇生法
- AED(自動体外式除細動器)操作を自ら行い、また、
- 指導における留意点等を学びました。



応急手当普及員の認定を受けて以来、3年に1度、更新のための再講習を受講しています。

いざという時に少しでも落ち着いて行動できるよう、今後も継続的に受講していきたいと思えます。

